

## 一般社団法人大学コンソーシアム熊本第30回理事会 議事録

- 1 開催日時 令和3年3月26日(金) 11時00分～12時15分
- 2 開催場所 熊本県立大学 CPDホール
- 3 出席者 代表理事(会長) 半藤 英明 熊本県立大学長  
代表理事(副会長) 原田 信志 熊本大学長  
代表理事(副会長) 荒木 朋洋 東海大学九州キャンパス長  
理事 堤 裕昭 企画・運営委員会委員長  
監事 広渡 純子 九州ルーテル学院大学長  
監事 荒木 啓二郎 熊本高等専門学校長  
顧問 崎元 達郎 学校法人 銀杏学園 前理事長
- 欠席者 理事 中山 峰男 崇城大学長

### 4 開 会

#### (1) 開会

事務局(渡邊事務局長)から、本日の理事会に現在の理事5名中4名(監事2名出席)の出席により、定款第32条に定める定足数(理事現在数の過半数)を満たし、理事会が成立したことを宣言した。

#### (2) 会長(議長)挨拶

本日の理事会は、顧問を同席させること、及び①中期計画進捗状況・評価について、②令和3年度事業計画及び収支予算(案)について、③令和3年度の運営体制について、④地方経済総合研究所への入会についてが議題であることが宣言された。

#### (3) 議事録の確認及び議事録署名人の指定

資料1の一般社団法人大学コンソーシアム熊本第29回理事会議事録に議事録署名人の署名捺印を頂いたことの確認及び報告のあと、定款第33条及び理事会運営規則第12条の定めにより、本日の議事録署名人は半藤代表理事(会長)及び広渡監事、荒木監事が行う旨の報告があった。

### 5 理事会議事

#### 第1号議案 中期計画進捗状況・評価について

事務局(渡邊事務局長)より資料2-1に基づき、平成31年度(令和元年度)から令和5年度の5年間における中期計画進捗状況の評価方法等の説明の後、資料2-2に基づき、令和2年度における中期計画の進捗状況、評価(案)について、本年は新型コロナウイルス感染症の発生・拡大に伴い、大学を取り巻く環境が大きく変わり、取組そのものが実施できないことが多く、このような状況下で、中期計画作成時の活動指標に対する評価を行うことは難しいと思われたが、各事業部会にて取組ごとの評価を行い、企画・運営委員会では各部会からの報告を受け、中期計画の目的・目標レベルの達成度の評価を行ったこと、また、理事会ではこれらを受け、達成状況の検証、中期計画全体の検証を行うこととなっており、資料2-2の通り評価案を作成した旨の説明があった。

審議の結果、中期計画の進捗状況、評価(案)は承認された。

## 第2号議案 令和3年度事業計画及び収支予算（案）について

事務局（渡邊事務局長）より資料3-1に基づき、令和3年度の事務局運営費及び各事業部会の事業計画概要、予算要求の内容等について、令和2年度との変更点を中心に説明があった。特にコロナ感染症の影響を考慮した計画内容及び地域創造部会に新規事業を計画していることについて説明があった。

次に、資料3-2に基づき、収支予算書（案）、収入・支出の概要の説明があり、特に収入については、放送大学熊本学習センター退会による会費収入減について、また、今回案には含めていないが、私立大学等改革総合支援事業補助金申請が採択された2大学から事務負担金をいただくことの内諾を得ていることの説明があった。さらに会費収入一覧（案）、資金調達及び設備投資の見込みはないことの説明の後、令和3年度事業計画及び収支予算（案）について審議を行った。

これらについて各理事より下記の意見があった。

- 1) 中期計画進捗状況の評価結果を受けてその対策を考えることも必要であり、今年度はコロナの影響もあり難しいが、今後は評価結果を次期予算にも反映させる仕組みが必要ではないか。
- 2) 予備費の推移、事業内容及び事業費の見直しについては今後も理事会として精査していく必要がある。
- 3) 来年度も事業の見直しを行う中で、本当にコンソーシアムで扱うべき課題は何かの見直しを行い、理事会からのメッセージが各事業担当者に確実に伝わるような方策を考えて全体のリーダーシップをとって行くことが必要ではないか。

審議の結果、令和3年度事業計画及び収支予算（案）は承認された。

なお、事務局より、令和2年度の決算を5月の理事会で審議いただく予定であり、その際は決算額の確定等により、令和3年度収支予算に変更があった項目について改めて審議をお願いしたいとの説明があった。

## 第3号議案 令和3年度の運営体制について

### (1) 令和3年度新役員について

議長より、資料4-1に基づき、次期役員について前回の理事会で審議頂いた候補者について本人の承諾を得たことの報告があり、また、企画・運営委員長として理事に就任いただく方は会長予定の小川先生の意向を確認させていただいた上で依頼すること、また、役員の選出は5月の社員総会で最終決定する旨の説明があった。

さらに議長より、現在の役員の任期は定款の第24条により5月の社員総会の終結時までとなっているため、それまでは現役員に引き続き協力をお願いする旨の説明があった。

事務局（渡邊事務局長）より、5月の社員総会での新役員の選出は理事・監事の選出であり、社員総会后に新役員による理事会を開催し、代表理事（会長・副会長）を決定する旨の説明があった。

出席者から特に発言はなく、令和3年度新役員（案）については承認された。

### (2) 令和3年度事務局体制について

事務局（渡邊事務局長）より、資料4-2に基づき、令和3年度の事務局体制（案）について説明があり、前回の理事会で各大学からの出向者の確認をいただいたが、その後、熊本大学の出向者から事務局長を出していただくこととなったことの説明があった。それに伴い、現在の事務局長と事務局次長（熊本大学再雇用終了）がともに退任となれば業務に支障がでることが考えられるため、令和3年度は事務局次長をコンソーシアムの直接雇用にてできればと提案する旨の説明があった。

審議の結果、令和3年度事務局体制（案）は承認された。

## 第4号議案 地方経済総合研究所への入会（会員）について

議長より、資料5に基づき、公益社団法人地方経済総合研究所からの入会依頼に

ついて、入会すれば年会費の負担はあるが、各種情報の利益もあること、また地方経済総合研究所はコンソーシアムの協賛会員でもあることの説明があり、審議の結果、入会することが承認された。

第5号議案 その他  
なし

## 6 理事会報告

第1号報告 正会員（放送大学熊本学習センター）の退会について

事務局（渡邊事務局長）より、資料6に基づき、放送大学熊本学習センターから退会届けが提出されたことの報告があった。なお、退会期日は3月31日となっていること、入会及び退会に関する規則第10条に、会員は退会届を提出して任意に退会することができるかと規定されていること、協賛会員等で残ることもお願いしたが退会の意志は変わらなかったことの説明があった。

第2号報告 令和2年度各部会の実施事業について

事務局（渡邊事務局長）より、資料7に基づき、令和2年度の実施事業について報告があった。

第3号報告 令和2年度共催及び後援名義使用の許可状況について

事務局（渡邊事務局長）より、資料8に基づき、2月末日までに承認した共催・後援名義の使用について報告があった。

第4号報告 その他

事務局（渡邊事務局長）より、参考資料に基づき、インターンシップ連携事業に関連して作成した「熊本県内企業ガイドブック」について報告があった。

## 7 閉 会

以上で議事を終了し、議長は閉会を宣言した。

この議事録が正確であることを証するため、代表理事（会長）及び出席監事は、署名押印する。

令和3年3月26日

一般社団法人大学コンソーシアム熊本第30回理事会

代表理事（会長） 半 藤 英 明

監 事 広 渡 純 子

監 事 荒 木 啓 二 郎